

## お詫びと訂正

平成29年7月10日発行「砂糖類・でん粉情報」2017年7月号の「シンガポールの砂糖をめぐる情勢～競争力を生かした加糖調製品の生産・輸出動向～」につきましては、企業情報等に関してご指摘をいただいたため、事実確認を行ったところ、誤りがありました。

読者の皆さまにご迷惑おかけしたことをお詫び申し上げますとともに、以下の通り訂正いたします。

### ○2 加糖調製品の生産動向

#### (2) 生産動向

・表5 加糖調製品製造企業の一覧（81ページ）について、以下の通り差替えます。

会社名	製造品目	概要
SMC Food 21 Pte. Ltd. (SMC社)	ミルク調製品、ココア調製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1999年設立。シンガポールの国内企業</li> <li>・国内大手の砂糖商社Cheng Yew Heng社のグループ企業</li> <li>・国内最大手で、いずれの製造品目でも25～30%のシェア</li> <li>・主にフィリピン向けの加糖調製品輸出を行っていたが、現在では日本が主要な輸出先。シンガポールのほか、タイおよびマレーシアに製造拠点を置く</li> <li>・日本に事務所を置く（SMCジャパン社）</li> </ul>
T&C Manufacturing Company Pte. Ltd. (T&C社)	ミルク調製品、ココア調製品、穀粉調製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1971年創業。大東カカオのシンガポール製造拠点</li> <li>・2012年、新たにブレndィング工場建設</li> </ul>
Woodlands Sunny Foods Pte. Ltd.	ミルク調製品、ココア調製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1988年創業。不二製油のグループ会社</li> <li>・油脂類関連製品（クリーム、マーガリンなど）の製造も行う</li> <li>・近年の生産コスト高から、ココア調製品は将来的に生産縮小の可能性はある</li> <li>・砂糖は国内砂糖大手企業SIS社から調達し、砂糖以外の原材料は直接輸入</li> <li>・現在、ココア調製品の生産は自社製品向けのみ</li> </ul>
Meiji Seika (Singapore) Pte. Ltd.	ミルク調製品、ココア調製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治製菓の子会社</li> <li>・1974年Hillman社とのジョイントベンチャーでシンガポールに設立した製造および販売拠点</li> <li>・国内外向けの菓子類とともに加糖調製品を製造し日本向けに輸出</li> <li>・近年、加糖調製品の生産は自社製品向けのものに転換したとみられる</li> </ul>
Asian Blending	ミルク調製品、ココア調製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1992年設立。シンガポール資本</li> <li>・SIS社の子会社</li> <li>・「3-in-1」コーヒーやジュース、粉乳も小売用および業務用に輸出</li> </ul>
Prima Flour	穀粉調製品など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1961年創業。国内最大手の製粉業者</li> <li>・日本の商社またはメーカーへ穀粉調製品を対日輸出</li> <li>・対日輸出される穀粉調製品のほとんどを生産</li> <li>・小麦はカナダ、米国、豪州などから輸入</li> <li>・聞き取り事例では、日本のユーザーの注文に合わせて製粉した後、ブレンドを行っている</li> </ul>

(3) 生産方法

・ア 原料調達（81ページ）について、  
左段9行目を、以下の通り訂正します。

【正】砂糖を直接輸入する企業もあれば、Woodlands Sunny Foods 社のように、国内砂糖大手企業のS I S社から調達する場合もある。

【誤】砂糖を直接輸入する企業もあれば、Woodlands Sunny Foods 社のように、国内大手砂糖商社のS I S社から調達する場合もある。

・同（82ページについて）、  
左段12行目を、以下の通り訂正します。

【正】Prima Flour 社などが穀粉調製品を生産している。

【誤】Prima Flour 社のみが穀粉調製品を生産している。

○コラム1 SMC社の加糖調製品生産状況（83ページ）について、

・9～10行目を、以下の通り訂正します。

【正】なお、袋詰めには25～30キログラムの紙袋の他にフレキシブルコンテナバッグ（容量500～1000キログラム）も使われる。

【誤】なお、袋詰めには25～50キログラムの紙袋の他にフレキシブルコンテナバッグ（容量500～3000キログラム）も使われる。

・図 SMC社の加糖調製品生産工程および製造施設を、以下の通り差替えます。

